

北海道身体障害者新聞

発行人 一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会
会長 赤坂 勝
札幌市中央区北2条西7丁目(かてら2-7)
電話 011-251-1551
FAX 011-251-0858
ホームページ www.hokusinkyu.or.jp
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
毎月 25日発行
会員購読料(年) 90円 (会費を含む)
非会員 同 2,000円

平成25年度盲ろう者通訳・介助員養成講座の開催

【一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会(会長赤坂 勝)は、平成25年度の養成講座を札幌の道民活動センタービルにおいて、12月13日から15日までの3日間に亘って、開催しました。】
この講座は北海道からの受託事業(盲ろう者通訳・介助員派遣事業)として実施しており、札幌盲ろう者福祉協会の全面協力を頂き、講座の開催をしております。
今回は52名の応募者の中から全日程の受講と、派遣依頼の場合、平日及び土・日・祝祭日の活動可能な方と、地域性を考慮し、30名を決定し、最終的に28名でスタート致しました。
講座の概略は次の通り。

★12月13日(金)

10時からの開講式は北海道身体障害者福祉協会 常務理事 泉 司より挨拶がありました。
一講目
北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 日置 基樹主任から北海道の現状と派遣事業の詳細について纏々、説明がありました。



開講挨拶の北身協 泉 司常務理事
北海道障がい福祉課 日置主任の講義

午前最後は、札幌盲ろう者福祉協会 富樫 眞弓会長の「盲ろう者福祉概論」で6項目について細かな講義で午前を終りました。



ドアの通過実技



盲ろう者疑似体験セットを着けて

午後の部
13時から「コミュニケーション」の講義が1時間行われ、その後、「盲ろう疑似体験(全盲ろうのケース)」の実技が約3時間30分に亘り行われました。
二人一組でペアを組み、盲ろう者は、耳栓、アイマスク、ヘッドホン、疑似体験セットを着け全盲ろう状態となり、介助員役と室内移動、狭い処の歩行、椅子席を歩き、その後、ドアの通過を体験し、皆さん初めての体験で盲ろう者との関わりに苦労していましたが実技の時間はアットという間に過ぎ受講生は初日からお疲れでした。

「コミュニケーション」の講義です。ろう者の盲ろう者とのコミュニケーション方法の理解の講義で弱視手話、触手話について学びました。
いよいよ実技です。14時40分から3時間の実技で「階段の昇降」「エレベーター」「ドアの通過」の実技でした。
受講生は肉体的、精神的に前日同様疲れた表情でした。



食事実習の1コマ、2



アイマスクを着けた食事実習

12時50分からアイマスクを着けての食事実習です。
盲状態で、弁当の中身が全く判らない中での食事に戸惑いながらの食事実習で、なかなか箸が進みません。その後、アイマスクをとった受講生の表情は何ともいえない安堵感がいっぱいでした。

三講目 「盲ろう者と筆記」
筆記通訳の知識と技術についての講義でした。
12時50分からアイマスクを着けての食事実習です。
盲状態で、弁当の中身が全く判らない中での食事に戸惑いながらの食事実習で、なかなか箸が進みません。その後、アイマスクをとった受講生の表情は何ともいえない安堵感がいっぱいでした。



プリスタ実技

★12月14日(土)

一講目 「盲ろう者と点字」
点字や指文字の必要な盲ろう者のため、基本となる点字の講義と携帯用点字器・ブリストラを使い実技指導がありました。
二講目 「盲ろう者と音声」
音声通訳の必要性について、心構えと人口内耳等の講義がありました。



白杖を使い移動実技

★12月15日(日)

一講目 「盲ろう者として(体験発表)」
札幌盲ろう者福祉協会の役員で、当事者のお二人から体験発表で受講生は直接、当事者から聞くのは初めての様で真剣な眼差しで聞き入っておりました。
二講目 「コミュニケーション実技」
受講生を4グループに分けて手話・音声・筆記・触手話の実技指導を移動して2時間30分指導を受けました。



体験談の松浦さん



コミュニケーション実技

三講目 「通訳介助の実習」
疑似体験セットを着けた盲ろう者役と、通訳・介助役を組み分けし、レストランでメニューから盲ろう者が食べたい品を選択し、食事、飲物を受付で注文するといふ多くの情報から盲ろう者が自分で判断・選択し、決定するのは盲ろう者自身であるといふ理解を深める実習でした。
通訳・介助員役は多くの情報を盲ろう役に正確に手書きで伝達し、盲ろう役に決定してもらったことに皆さん悪戦苦闘しておりました。



メニューから選択し注文

四講目「通訳・介助員として」

3日間の講義、実技の中での通訳・介助員の在り方、盲ろう者に対する基本的姿勢と意識の持ち方についてまとめの話がありました。受講生はこの養成講座を通じて今後、通訳・介助員として北身協と札幌協に夫々登録し、自己研鑽し、一人前になるという気概を感じました。
その後、閉講式で、北身協常務理事 泉 司より閉講挨拶、札幌盲ろう者福祉協会 富樫 眞弓会長の激励の言葉があり、その後、受講生28名全員に修了証書が授与されました。



激励の言葉を述べる長崎市長

最後に講師、受講生全員で集合写真を撮って3日間の講座・実技を無事終えて、受講生は、安堵感と、これからの通訳・介助員として自信に満ちた笑顔で帰路に着きました。



講師・受講生全員集合

今回の、講座・実技の講師を全面協力頂いた札幌盲ろう者福祉協会の皆様に、紙面を借りて感謝申し上げます。
有難う御座います。そして、お疲れ様でした。
平成26年は、通訳・介助員現任研修を10月に実施予定です。

一般社団法人日本義肢協会会員

株式会社 札幌義肢製作所
代表取締役 関 喬
札幌市中央区南三条西六丁目
電話代表(011)241-0986番

札幌義肢製作所旭川支店
支店長 舛田裕司
旭川市五条通十二丁目
電話(0166)241-5331番

有限会社 野坂義肢製作所
札幌市中央区南三条東四丁目
電話(011)221-1406番

有限会社 河笠義肢製作所
小樽市長橋四丁目七番二十九号
電話(0134)211-3042番
(0134)311-7002番

株式会社 馬場義肢製作所
函館市豊川町一五の二
札幌市北區太平七条二丁目
室蘭市母恋北町一三の六
釧路市富士見一五の九
電話(011)831-2615番
(011)741-0303番
(0143)311-5529番
(0154)411-3546番

株式会社 田村義肢製作所
札幌市中央区北四条東五丁目
電話(011)201-2777番
帯広支店 帯広市大通南十五丁目二十番地
電話(0155)271-2489番

有限会社 三愛義肢製作所
代表取締役 柏崎力ネ
岩見沢市志文町九二三番地二六
電話(0123)211-6433番

株式会社 協和義肢製作所
岩見沢市三条西八丁目
電話(0123)211-3739番
FAX(0123)211-7618番

有限会社 美唄義肢製作所
代表取締役 松田清勝
美唄市東七条北四丁目七番九号
電話(0126)611-0931番

有限会社 千葉義肢製作所
釧路市若草町七番二号
電話(0154)211-3811番
FAX(0154)211-5888番

「ご協力を」町内会の回覧協力による日身連収益事業は、あなたの協会に還付されております。

国の平成26年度障害保健福祉部予算案について

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部より平成26年度障害保健福祉部予算案の概要が提示されました。

★予算額

- 26年度予算案 1兆5,019億円
- 25年度予算案 1兆3,982億円
- (対前年増減 +1,037億円)
- 障害福祉サービス関係費 (自立支援給付+地域生活支援事業) 26年度予算案 9,534億円
- 25年度予算案 8,689億円
- (対前年増減 +844億円)

★主な施策

- ◆良質な障害福祉サービス等の確保 9,534億円 (+844億円)
- 障害福祉サービス 9,072億円 (+842億円)
- 地域生活支援事業 462億円 (+2億円)
- ◆障害者に対する良質かつ適切な医療の提供 2,217億円 (+31億円)
- ◆障害福祉サービス提供体制の整備 30億円 (▲22億円)
- ◆地域における障害児支援の推進 897億円 (+226億円)
- ◆重度訪問介護などの利用促進に係る市町村支援事業 22億円 (+0億円)
- ◆認知行動療法の普及の推進 1億円 (+0億円)
- ◆自殺対策に取り組み民間団体への支援 1.3億円 (+0.3億円)
- ◆障害福祉サービス事業所などの災害復旧経費(復興) 8億円 (▲1.6億円)
- ◆被災地心のケア支援体制の整備(復興) 18億円 (+1.0億円)
- ※(復興)と記載のあるものは、「東日本大震災特別会計」計上項目

北身協収益事業「北のテラレゾ」の活用と御礼

一般社団法人北海道身体障害者福祉協会は、収益事業の一つとして、インターネットにおいて「北のテラレゾ」を立ち上げております。ショップオープン後、多くの皆様の活用して頂き、有難う御座いました。

現在、商品を増やし、12アイテムとなっており、年末には、そばやうどんが大変多く売れました。詳細はインターネットで「北身協」と検索して下さい。

平成25年度パソコン教室 登別市での開催について

平成25年度登別市総合福祉センター「しんた21」で11月12日(火)から11月14日(木)の3日間、25名の参加を頂き、大変熱心な参加を頂き、大変な成果を挙げました。



登別市、パソコン教室

平成25年度パソコン教室 帯広市での実施について

平成25年度 最後のパソコン教室が、11月27日(水)から11月29日(金)の3日間、帯広市のとかちプラザで開催されました。

教室でした。地元帯広協会のご協力に紙面を借りて感謝申し上げます。

- ① エクセルによるハガキの作成(イラストを自由にアレンジする。)
- ② 収支書類の作成(文字列の揃え方計算式の計上方法)住所録の作成方法
- ③ 俳句とイラストの挿入



帯広市、パソコン教室

病気の人も障がいがある人も、難治性疾患の女性、美瑛にペニンシオン開業

「上川管内美瑛町に12月21日ペンシオンがオープンしました。千葉から移住した親子が、『うねうね畑とくもの月』という名前のペンシオンをオープンしました。

障がいのある人、健康な人、誰もが旅の楽しさ、自然の美しさを体験できる宿を目指している。

8年前に北海道旅行で美瑛に泊った時、雄大な自然に感動し、雄大な自然、視界を遮るものがなく、自分を包んでくれる大地を感じ住みたいと思ったのがきっかけとなる。

黒村桃子さんは母の操さんと二人で土地を借り、借金をして、木造2階建てペンシオンを建てた。

いすに乗っていても、ベッドに寝転んだままで丘の風景や夜空の星が見えるようにしている。帯はすでに銀世界。「ホッ」とできるペンシオンにした「美瑛から発信し、全国にこころを届けたらいい。全ての人、が、ごく普通に、当たり前になるように交じわるようなユニバーサル社会の実現を目指したい。」と夢は大きく広がっております。

盲ろう者通訳・介助員派遣事業の利用登録申請について

あなたのご家族や周りに視覚と聴覚に重複して障がいのある方はいませんか。北海道身体障害者福祉協会では、このような方に対するコミュニケーションや移動等の支援を行う「盲ろう者通訳・介助員派遣事業」を無料でお知らせしております。

是非、盲ろう者の方やご家族に、この事業を紹介して通院や買い物などで利用されるようにお伝え下さい。

【問合せ先】一般社団法人北海道身体障害者福祉協会 札幌市中央区北2条西7丁目

「ご連絡をお待ちしています」あなたの自立と社会参加のお手伝いを致します。

文芸

松に竹梅を揃えて野のまくら 幸の夢見る富士に鷹茄子 (松野 幸子) 小鳥鳴く野の山寺桃源郷

カエデやツツジ 浜茄子も咲く 天高く白鳥の姿大橋は 末広がりに吉呼ぶ如く (高橋 末吉)

室蘭市 池内 満里子 忙しく師走の風に追われつつ 釣る瓶落として暮れるはやさよ 賀状書き受けとる人の笑顔など 思い浮かべて言葉をつづる オリオンのはるか空を眺めつつ こわしたくないこのうつくしき

室蘭市 池内 満里子 激動をいくつ抜け来し除夜の鐘 船笛の鎮みゆく海年明くる 綿虫の答へなき旅冬ざるる

滝川市 菅原 信子 冬枯れや一色に染まり雪景色 餅つきや愛の手入れてヨイシヨイかな

「文芸に投稿される方へ 編集部からお願い」 一、投稿は、新聞発行月の前月末迄に願います。

二、作品には、短歌・俳句・川柳の区分を記入願います。

三、一般読者が読みにくい漢字には必ずルビを付すように願います

★訂正とお詫び

本紙新年号において、以下の誤りがありました。訂正しお詫び申し上げます。 2面「平成25年度網走地区身体障害者スポーツ大会の開催」本文10行目 誤：北見市ロータリー倶楽部 正：北見西ロータリークラブ

安心と実績で全道をネットする 認定補聴器専門店-

岩崎電子 補聴器センター

本店 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド

札幌駅前 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H・S・ビル1F

新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F

手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目

旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビル1F

函館店 函館市杉道町20 オカダビル

苫小牧店 苫小牧市表町5丁目5-1

室蘭店 室蘭市中央町3丁目25-1 TMビル

お問い合わせ 0120-231-282

本拠地 岩崎電子株式会社 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド

印刷・クリーニング・縫製のご用命は

北海道リハビリ

障害者支援施設 リハビリ・エイト

障害福祉サービス事業 リハビリ・クローナース

障害福祉サービス事業 リハビリ・おおぞら

障害者支援施設 札幌ワークセンター

障害福祉サービス事業 セルプさっぽろ

グループホーム・ケアホーム エルフィンホーム

自立援助ホーム 陽だまり

施設利用ご希望の方はお気軽にご相談ください 法人本部 北広島市西の里507番地1 TEL(011)375-2111(代)

NISSIN

身体障害者用 自動車運転装置/販売・取付

ニッシン自動車工業 北海道

岩見沢市志文町九二二二二六 電話(011)261-3310

HOP

札幌市東区北二十条東一丁目五十一番地

ホップ障害者地域生活支援センター

TEL(011)748-1631 FAX(011)748-1631

クリーニングは光生舎

光生舎 クリーナース

光生舎 ワグショップ

光生舎 エルムクリーニング

光生舎 ライトスラザ

光生舎 メディック・エル

光生舎 クリーンセブン

光生舎 スラザインザパロ

光生舎 虹の里

光生舎 虹の里 デイサービスセンター

光生舎 フーレビラウ

光生舎 ケアハウス

介護施設 親愛の家

特別養護老人ホーム しらかば荘

多機能事業所 光生舎ゆいま〜るもがほ

○施設の利用を希望される方はお気軽にご相談下さい。

連絡先 (社福)北海道光生舎 電話 0125-32-3221 担当 厚生部

LP

株式会社 ライフパス

札幌市北区篠路一条八丁目六番三〇号 電話(011)772-1471 FAX(011)772-1471

有限会社 岩見沢義肢

岩見沢市緑が丘二丁目八番地八 電話代表(011)261-1550